

ヘルシンキの片隅に、みんなで救った希望がとる。

2017年ベルリン国際映画祭 銀熊賞(監督賞)
2017年国際批評家連盟賞 年間グランプリ
2017年ダブリン国際映画祭 ダブリン映画批評家協会賞、最優秀男優賞
2017年ミュンヘン映画祭 平和のためのドイツ映画賞・ブリッジ監督賞



THE
OTHER SIDE
OF
HOPE

生き別れた妹を見つけない。
そのひたむきな願いを叶えるのは、名もなき人々のちいさなやさしさ。



シリア難民の青年カーリドは、北欧フィンランドの首都ヘルシンキに流れつく。彼の願いは“いい人々のいい国”だと聞いたここフィンランドで、生き別れた妹を見つけて暮らすこと。しかし難民申請は却下され、街中では理不尽な差別と暴力にさらされてしまう。そんな彼にしがいないレストランオーナーのヴィクトロムは救いの手をさしのべ、自身のレストラン“ゴールデン・パイント”にカーリドを雇い入れる。世間からすこしはみ出たようなゴールデン・パイントの店員たちもカーリドを受け入れはじめた頃、彼のもともと妹が見つかったという知らせが入るのだった…。

誰かを受け入れるとき、そこには希望が生まれる。
名匠アキ・カウリスマキのやさしさ溢れる新たな傑作。



2017年のベルリン国際映画祭で観る者すべての胸に深い余韻を残し、見事銀熊賞(監督賞)を受賞した『希望のかなた』。前作『ル・アーヴルの靴みがき』に続く“難民3部作”の2作目にあたる本作で、カウリスマキ監督は“受け入れて、助けあう”という世界が忘れかけている当たり前の人間性を、ユーモアと無償のやさしさをもって描きました。カウリスマキ映画ではおなじみの、社会の片隅でつましやかに生きる、少しばかり孤独をかかえた人々のちいさなやさしさが、一人の青年の願いを叶え、魂を救うのです。誰かを受け入れるとき、そこには希望が生まれる。そんなカウリスマキからのメッセージは、不寛容がはびこる世界に生きる私たちの、心のより所となることでしょう。

主演のシリア人俳優セルワン・ハジを迎え入れたのは、サカリ・クオスマネンをはじめとする個性的なカウリスマキ組の常連たちと、カウリスマキの愛犬ヴァルブ。物語に絶妙にシンクロするフィンランドのベテランミュージシャンによる演奏シーンの数々や、痛烈な“わさびネタ”も必見です。

監督・脚本:アキ・カウリスマキ/出演:セルワン・ハジ、サカリ・クオスマネン

2017年/フィンランド/98分/DCP.35MM/1:1.85/カラー/ドルビーSRD/英語題:THE OTHER SIDE OF HOPE/原題:TOIVON TUOLLA PUOLEN/日本語字幕:石田孝子
提供:ユーロスペース、松竹/配給:ユーロスペース/宣伝:テレビザ/後援:フィンランド大使館/協力:国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)駐日事務所、特定非営利活動法人 国連UNHCR協会/推薦:カトリック中央協議会広報

kibou-film.com

特別鑑賞券絶賛発売中!

『希望のかなた』『みんなで救おう』キャンペーン実施

※特製バッジ付き特別鑑賞券のご購入で、代金の一部が難民支援を行う国連UNHCR協会に寄付されます。(一部上映劇場窓口にて販売。販売は各劇場の上映開始日前日まで)



12月2日(土)より
ロードショー

ユーロスペース
03-3461-0211

新宿ピカデリー
03-5367-1144

横浜ジャック&ベティ
045-243-9800

12月23日(土)より

角川シネマ有楽町
03-6268-0015

川崎市アートセンター
044-955-0107

福岡KBCシネマ
092-751-4268

12月24日(日)より

名古屋シネマテーク
052-733-3959

1月6日(土)より

シネ・リーブル梅田
06-6440-5930

順次——【北海道・東北】札幌シアターキノ 011-231-9355 | フォーラム八戸 0178-38-0035 | フォーラム盛岡 019-622-4770 | フォーラム山形 023-632-3220 | フォーラム仙台 022-728-7866 | フォーラム福島 024-533-1515 | 【関東】シネマテークたかさき 027-325-1744 | 川越スカラ座 049-223-0733 | 【中部・北陸】新潟シネ・ウィンド(1月27日~) 025-243-5530 | 十日町シネマパラダイス 025-752-7505 | 金沢・シネモンド 076-220-5007 | 松本シネマセレクト(1月12日) 0263-98-4928 | 静岡シネ・ギャラリー(1月20日~) 054-250-0283 | 浜松・シネマ・イーラ(2月3日~) 053-489-5539 | 伊勢進富座(2月24日~) 0596-28-2875 | 【関西】京都シネマ 075-353-4723 | 神戸・元町映画館 078-366-2636 | 宝塚・シネ・ビバ 0797-87-3565 | 豊岡劇場(2月10日~) 0796-34-6256 | 岡山・シネマ・クレール丸の内(2月24日~) 086-231-0019 | 広島サロシネマ 082-962-7772 | シネマ尾道 0848-24-8222 | 山口情報芸術センター(1月31日~) 083-901-2222 | 【四国】愛媛シネマルナティック 089-933-9240 | 【九州・沖縄】佐賀シアター・シエマ 0952-27-5116 | Denkikan 096-352-2121 | 大分シネマ5 097-536-4512 | 宮崎キネマ館(1月20日~) 0985-28-1162 | 鹿児島ガーデンズシネマ(1月20日~) 099-222-8746 | 沖縄・桜坂劇場 098-860-9555

監督・脚本:アキ・カウリスマキ(「ル・アーヴルの靴みがき」)

出演:セルワン・ハジ、サカリ・クオスマネン

2017年/フィンランド/98分/DCP.35MM/1:1.85/カラー/ドルビーSRD/英語題:THE OTHER SIDE OF HOPE/原題:TOIVON TUOLLA PUOLEN/日本語字幕:石田孝子/配給:ユーロスペース/提供:ユーロスペース、松竹
PRODUCTION SPUTNIK OY WITH BUFO, THE FINNISH FILM FOUNDATION, YLE COPRODUCTIONS, PANDORA FILM, ZDF/ARTE, FINLAND 100 PROGRAMME AND THE CHURCH MEDIA FOUNDATION

SPUTNIK OY BUFO PANDORA YLE Suomi Finland 100 ZDF ARTE KVS

SPUTNIK PRESENTS

希望のかなた

THE
OTHER SIDE
OF
HOPE

みんなで、救う。



A FILM BY AKI KAURISMÄKI

TOIVON TUOLLA PUOLEN

崇高なスピリット、最高のユーモア、ブラボー！なミュージック。やはり、カウリスマキはスゴイッ！！

石橋凌 (俳優・ミュージシャン)

「The other side of hope」。一見して見える希望の別の（反対側の）面。難民側というよりも、これはむしろヨーロッパ人側の「希望」への疑問のように思いました。カウリスマキ映画の息をつかせるようなゆっくりとしたリズムが生む、温かくも残酷な「間」。その隙間を埋める観客の優しさに、監督はいつも賭けている感じがするのです。

加瀬亮 (俳優)

苦い現実をひらりとかわすように、登場人物がお洒落で良い顔をしている。何もかも最悪な日だからこそ、1番好きなシャツを着て笑おう。

尾崎世界観 (クリーブハイブ)

社会の隅にいる者、敗者に目を向けてきた監督が描く「希望」の力強さ。冷たいフィンランドの先には、あたたかいフィンランドが待っていた。国としてできなくても、人として私たちにできることはあるのだ。

森百合子 (コビーライター・北欧BOOK主宰)

移民に辛く当たる者がいて、一方で優しく迎え入れる者もいる街。スクリーンの中に光明を探しながら鑑賞しました。いつものカウリスマキ作品より少し苦く感じたけど、こんな世の中だから皆に観て欲しい。

堀込高樹 (KIRINJI・音楽家)

希望をもって人は生きている、そこに大小はない。善意もそうであり、それぞれの希望が誰かを支えていく。希望の彼方に行く道中は険しい。けれど、一筋の希望が人を生かす。あなたの周りに彷徨っている希望はありませんか？

サヘル・ローズ (タレント・女優)

人生どん底でも希望を持つ人には運が味方してくれる。カウリスマキ監督が描く人々の日常はどこか切なくて、やさしくて、ちょっぴり面白い。大好きな作品がまたひとつ増えました！

はな (モデル)



(順不同・敬称略)



アキ・カウリスマキ監督からのメッセージ

私がこの映画で目指したのは、難民のことを哀れな犠牲者か、さもなければ社会に侵入しては仕事や妻や家や車をかすめ取る、ずうずうしい経済移民だと決めつけるヨーロッパの風潮を打ち砕くことです。

ヨーロッパでは歴史的に、ステレオタイプな偏見が広まると、そこには不穏な共鳴が生まれます。臆せずに言えば『希望のかなた』はある意味で、観客の感情を操り、彼らの意見や見解を疑いもなく感化しようとするいわゆる傾向映画(※)です。

そんな企みはたいいてい失敗に終わるので、その後に残るものがユーモアに彩られた、正直で少しばかりメランコリックな物語であることを願います。一方でこの映画は、今この世界のどこかで生きている人々の現実を描いているのです。

※傾向映画とは1920年代にドイツおよび日本でおこった、商業映画の中で階級社会、および資本主義社会の矛盾を暴露、批判した左翼的思想内容をもつプロレタリア映画。

イ
ラ
ッ
シ
ヤ
イ
マ
セ
！



映画にも登場！ 帆前掛け×フィンレイソンのてぬぐいの“帝国寿司セット” 限定発売

『希望のかなた』で使われている“大勉強の店” 帆前掛けと、フィンランドの老舗テキスタイルメーカー「フィンレイソン」と日本のてぬぐい専門店「かまわぬ」がコラボしたてぬぐいをセットにした“帝国寿司セット”を、オンラインストア「北欧雑貨」と一部の上映劇場で限定販売。数に限りがありますのでお求めはお早目に！

帆前掛け1枚＋フィンレイソンてぬぐい1枚 販売価格2800円(予価)

〈北欧雑貨〉12月1日(金)～15日(金) 2週間限定販売 www.hokuouzakka.com
〈一部上映劇場〉上映期間中(なくなり次第終了)

協力：かまわぬ www.kamawanu.co.jp、ワークショップ・オオタ www.oota-net.com



Finland Kitchen Talo

2017年11月28日(火)～12月17日(日)にフィンランドキッチンTaloが『希望のかなた』とコラボレーション！映画のサントラをBGMに、劇中のレストラン“ゴールデン・バイント”にちなんだオリジナルメニュー(1700円)をお召し上がりいただけるほか、『希望のかなた』フォトスポットも登場します。

半券割引実施：『希望のかなた』半券提示でTALOの“ゴールデン・バイント”名物料理が1400円に。
Taloのレシート提示でユーロスペースにて『希望のかなた』当日一般料金より300円引き。

〈フィンランドキッチン Talo〉
東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ メトロハット/ハリウッドプラザB2F
営業時間：11:00～23:00 tel.03-3478-1917

SNSキャンペーン

映画の公式Twitter、Facebookをフォローして、ハッシュタグ「#希望のかなた感想」をつけて投稿すると北欧の雑貨や映画のオリジナルグッズが当たります。詳細は『希望のかなた』公式サイト上のEVENT欄をご覧ください。

提供：北欧雑貨

北 欧 雑 貨

特集上映「アキ・カウリスマキが愛するフィンランドの映画

CARTE BLANCHE AKI KAURISMAKI」開催決定！

フィンランド独立100周年を記念して、アキ・カウリスマキ監督が日本の観客のために選んだ知られざるフィンランド映画の名作・傑作6本を上映。

【上映作品】『夏の夜の人々』(1948年、監督：ヴァレント・ヴァーラ)、『白いトナカイ』(1952年、監督：エーリック・ブロンベリ)、『少年たち』(1962年、監督：ミッコ・ニスカネン)、『労働者の日記』(1967年、監督：リスト・ヤルヴァ)、『ラブシーとドリー』(1990年、監督：マッティ・イヤス)、『僕はラスト・カウボーイ』(2009年、監督：ザイダ・バリルト)

2017年11月25日(土)～12月1日(金) 会場：ユーロスペース
スケジュール等詳細は『希望のかなた』公式サイト上のEVENT欄をご覧ください。

